

下野市立学校長 様

下野市教育委員会教育長 石崎 雅也

「何かあった？」子どもに寄り添う声掛けを ～当たり前の取組(その4)～

4年ぶりの行動制限のない夏休みが終わろうとしています。多忙の中ではあったかと思いますが、先生方は少しでもリフレッシュできましたでしょうか。

さて、今年3月に報道された、令和4年の小中高生の自殺者数が514人で過去最多となったというニュースは記憶に新しいところです。長期休業明けの9月は児童生徒の自殺件数が多く、我々としてはこれまで以上に注意を払い悲しい事故を防がなくてはなりません。日頃から子どもたちと接している先生方は、ちょっとした子どもたちの変化にも「何か様子が違う」と感じることもあると思います。そのような些細な違和感をそのままにせず、他の先生方と共有しながら、その子への声掛けを増やすなどして、温かな対応をとっていただきますようお願いいたします。

どのような境遇にある子どもたちも、「学校に来れば嫌なことを忘れられる。」「友達や先生に会うために、また明日も学校へ行こう。」、そう思える学校であるよう、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

いい顔・いい声・いい心で 日々の教育活動の実践を!

◇こんな変化はありませんか。

- あいさつの声が小さくなった。あいさつを返さなくなった。
- 足取りが重い。歩き方がだらしなくなった。
- 靴のかかとをつぶして履くようになった。
- 表情が暗くなった。目を見て話さなくなった。話し掛けてくることが減った。
- 必要以上に明るく振る舞っている。話しかけてくるが増えた。
- 言葉遣いが悪くなった。目つきが鋭くなった。
- 物の扱いが雑になった。
- 学校のきまりに触れる行動が多くなった。
- 休み時間に一緒にいる友達が変わった。一人でいるようになった。
- 授業に集中していないが増えた。
- 忘れ物が増えた。
- 体調不良を訴えるが増えた。欠席が増えた。 等

行動の変化の背景を子どもが話したくなる関係づくりを!!

下野市教職員の当たり前!!
小さなサインを見逃さず、早期発見・早期対応
迅速な報告・連絡・相談を!!

『節電、節水、節約』
3S運動推進中
下野市教育委員会事務局
学校教育課
Tel 0285-32-8918